

## 次号予告

### 特集 DEA徒然草

- DEA徒然草.....刀根 薫 (政策研究大学院大学)  
DEAにおける近年の研究動向と応用.....Andrew L. Johnson (Texas A&M University, 大阪大学)  
実学としてのDEA—ドイツ配電事業のインセンティブ規制の事例紹介—  
.....筒井美樹 ((一財)電力中央研究所)  
公衆衛生対策とDEA—感染症対策を中心として—  
.....丸山幸宏 (長崎大学), 濱口由子 (北海道大学), 趙 宇 (大阪大学)  
DEAによる地方銀行の経営効率評価.....大里怜史・高橋正子 (慶應義塾大学)  
誰でも手軽に使えるDEAウェブアプリケーションの構築.....小畑経史 (大分大学)

### メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

- 60周年の記念号に、このような若輩者が編集後記を書いてよいものかと若干悩みながら筆を取っております。  
●さて、私の好きな推理小説の一つに、松本清張の『点と線』があります。この作品が世に出たのがちょうど60年前。ある刑事が、誰もが見逃すような些細な疑問から、地道な捜査を続け、最後には犯人のアリバイを崩していく、その当時では斬新な推理小説でした。この刑事の捜査活動は見方を変えれば、素朴な疑問点からコツコツと理論を組み立て、最終的には問題解決が達成される、まさにわれわれの研究活動そのものではありません。研究の本質ではないかと強く共感してしまいます。  
●アリバイ崩しの決定打は、飛行機を使ったトリックでした。現在の人々であれば、誰もが思いつくトリックで

はありますが、その当時、飛行機で移動することがほとんどない時代には、かなり新鮮なトリックだったようです。われわれの研究活動でも、新たなアイデアが使われ始めた時期では、かなり鮮烈な印象を与える研究でしょう。一方で、たとえば60年後の研究者が見れば、当たり前なのかもしれませんが、そのアイデアを思いつく思考過程は不変ではないでしょうか。

- 各時代に輝く研究者の個々の『点』が、研究分野・研究仲間・先輩後輩といった『線』でつながり、その線が60年という長い歴史を紡いできました。大還暦まで見据えると中間点ではありますが、今後も次々と生まれてくる『点』を『線』で結びながら、まだまだ続く物語を紡いでいきましょう。(蓮池 隆)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 猿渡 康文 (筑波大学)  
委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鷗飼 孝盛 (慶應義塾大学), 小林 隆史 (立正大学), 榎原 静 (株式会社東芝), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 佐藤 圭介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成29年6月号 第62巻 第6号 通巻678号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。